



## アジア健康長寿イノベーション賞 2021 松戸プロジェクト・コンソーシアムが新型コロナ対応特別賞受賞 (松戸市初の国際賞受賞)

日本国際交流センターならびに東アジア・アセアン経済研究センターは、アジア健康長寿イノベーション賞 2021 の各賞を決定し、新型コロナウイルス感染拡大により延期されていた国内での授賞式が、11月29日に、ホテルニューオータニ（東京都千代田区）で開催されました。同賞は、アジアにおける人口高齢化が非常に速いスピードで進展していることを背景に、健康長寿の達成、高齢者ケアの向上に資する革新的なプログラム、サービス、製品、政策など具体的な取り組みをアジア 10 カ国から募集し、アジアの有識者で構成される国際選考委員会による厳正な審査の結果、高齢化に伴う様々な課題に革新的な手法で対応している団体を表彰するものです。

今年、松戸市と千葉大学や民間企業等から構成される「松戸プロジェクト・コンソーシアム」が実施したアフターコロナ時代の新たな都市型介護予防モデル：コレクティブインパクトによるオンライン「通いの場」導入の試みが、今回より創設された新型コロナ対応特別賞を受賞したのでお知らせします。



武見敬三氏(左)よりトロフィーを授与された本郷谷市長

### ●アジア健康長寿イノベーション賞 2021 新型コロナ対応特別賞

(受賞団体) 松戸プロジェクト・コンソーシアム（松戸市、千葉大学等）

(内 容) アフターコロナ時代の新たな都市型介護予防モデル：コレクティブインパクトによるオンライン「通いの場」導入の試み

(選 後 評) 新型コロナウイルス感染症の流行が拡大する中で、都市部で暮らす高齢者の社会的孤立や生活機能の悪化などの二次健康被害を防ごうとする取り組み。大学、自治体、住民ボランティア、事業者などが協働して、高齢者がオンラインで交流できる「通いの場」を創設し、都市型の介護予防モデルづくりとその効果検証に取り組んでいる。

今後、高齢化がより深刻になる都市部での対策モデルということで世界的にも関心の高い活動である。都市部での多様なステークホルダーが協働で高齢者の社会的孤立の解消という共通する地域課題に効果的に取り組む先駆的事例として高く評価される。



やさシティ、まつど。  
matsudo

- 参 考 アジア健康長寿イノベーション賞関連ホームページ
- ・Asia Health and Wellbeing Initiative (AHWIN)  
公式サイト (<https://www.ahwin.org/>)
  - ・日本国際交流センター (JCIE)  
公式サイト (<http://www.jcie.or.jp/japan/>)

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市福祉長寿部地域包括ケア推進課

☎047-366-7343 FAX047-366-0991

✉ [mckaigoyobou@city.matsudo.chiba.jp](mailto:mckaigoyobou@city.matsudo.chiba.jp)